



ゲストティーチャーとして、三上さんに来ていただきました。「目が見えないってどんなこと？」という題でお話していただいたあと、手引きの仕方を教えてもらい、実際に体験しました。手引き体験では、目が見えない人役と手引きをする人役の二人一組になって、階段や狭い道、電車の座席などの設定で、見えない人を案内する体験をしました。

見えないことの不便さや怖さなどを体験し、自分たちにできることを考えました。学習の最後のふりかえりには、「災害が起こった時に、そばにいてあげたい。」「あぶないときや、こまっているときに声をかけようと思った。」などと書いていました。